



広島女学院大学  
HIROSHIMA JOGAKUIN UNIVERSITY

# Campus news

とっておき  
キャンパスライフ

2017.03.05  
SPRING  
No.188

特集  
**ワタシたちの未来予想図**  
**You&Me みんなで夢を語ろう！**

あなたに伝えたい  
株式会社ファーストボイス 鳴石しのぶ

わたしたちのキャンパスライフ  
キャンパスアルバム  
なるほど就活  
vege-full menu  
Relay Essay



# あなたに伝えたい



■学生時代に演じた三島由紀夫の「班女」。古典演劇からコメディ、ミュージカルまでなんでも演じていた。■大学での講義風景。■現在もエアロビクス・ストレッチを教えていたり。某大学にて。■ボランティアで開催しているFV就活塾 in 広島のイベント。■学校卒業後2年以内の未就職者を対象にした就職サポート。



「やりたいこと」は、できる。  
方法はひとつじゃないんです。  
鳴石さんは学生時代からアグレッシブでした。空きコマの活用を考え、自ら企業に提案してお菓子のモニターを実施したこと。企業から謝礼に図書券をもらい、多くの学生が参加しました。「先生はいつも黙つて見守ってくれて、でもやりすぎると首根っこをつかまれました（笑）。このあたたかさは女学院の魅力では」。  
「今度は私がサポートする番」と、若者が社会で活躍する力を育てるに使命を感じています。現在、キャリア支援に加え、起業セミナーなども開始。多くのプロジェクトが進行中です。

今も昔も  
「やりたい！」と思ったら  
行動しています。

20代で就職でも起業でもいいと思う。  
がんばっている若い人の夢を  
実現できるようにサポートしたい

株式会社 ファーストボイス 代表取締役  
鳴石しのぶ (なるいし しのぶ) さん  
短期大学部 家政科家政専攻 1988年卒  
東広島市出身。中学から短期大学まで広島女学院で学ぶ。広告代理店、フィットネススタジオ、資格取得スクールに勤務し、2008年に会社を立ち上げる。中四国九州エリアの大学や高校を中心にキャリア教育、就職支援などを実施。

事務職に就くことがほとんどであった時代に、新しい可能性を感じた瞬間でした。その後も、自分が求める仕事を追って転職。そして30歳のときに入社した資格取得スクールが今の仕事の礎です。「一見、全く違う仕事のようでも、共通するコアな部分『伝える力』があつて、ほかの必要な能力が少しづつ加わっていった感じです」。そのころ大きな気づきがあったといいます。「仕事が合わないと感じるの大抵、自分に実力が伴っていないだけ。力がつけば思いのままにできるんです。まずは自分がその場所で力をつけることが重要」。気持ちを新たにした鳴石さんは、新事業をどんどん立ち上げていきました。そして会社から信頼され、協力も得て独立に至ったのです。

鳴石さんは、学生時代からアグレッシブでした。空きコマの活用を考え、自ら企業に提案してお菓子のモニターを実施したこと。企業から謝礼に図書券をもらい、多くの学生が参加しました。「先生はいつも黙つて見守ってくれて、でもやりすぎると首根っこをつかまれました（笑）。このあたたかさは女学院の魅力では」。  
「今度は私がサポートする番」と、若者が社会で活躍する力を育てるに使命を感じています。現在、キャリア支援に加え、起業セミナーなども開始。多くのプロジェクトが進行中です。

「やりたいこと」は、できる。  
方法はひとつじゃないんです。



## 人の役に立てる 管理栄養士を目指して

### ワタシの未来

### 大学生活の思い出

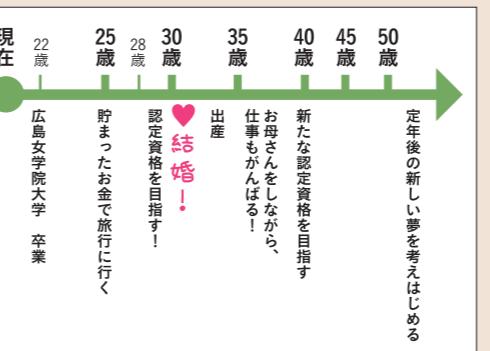
### ワタシの未来

#### 大学生活の思い出

ボランティアでフルートを演奏したときの様子



3年生の時、高齢者施設でのボランティアに一週間参加するという経験をしました。はじめは自信がなく、利用者様の様子を見守っているだけでしたが、少しずつ役に立てるよう積極的に声をかけるようにし、困っている方には手助けをしました。その結果、利用者様と打ち解け始め、最終日には私の手を握り「また来てね」と温かい言葉もいただきました。この経験を通じて人と接することの楽しさを感じ、もっと人の役に立ちたいと思いました。この経験をしてからも、大学生活で学んだことや、このボランティアで体験したこと忘れずに頑張りたいと思います。



#### 4年間で学んだことを生かせる保育士に

幼児教育心理学科4年  
元久保 朱音  
(三原高等学校出身)



管理栄養学科4年  
砂田 沙羅  
(栃木県立那須拓陽高等学校出身)

「食事を通して人に貢献できる職に就きたい」。その思いから、管理栄養士をしてきました。大学で経験したボランティアや実習を通して、「人の役に立つ仕事をがしたい」「医療現場で働きたい」と、思いは強くなり、より具体的に夢を描くようになりました。

春からは念願が叶い、病院管理栄養士として働きます。食事で困っている方、悩んでいる方の手助けをするためには、栄養士としての専門性も高めていかなければなりません。今後は、そのための資格取得にも挑戦したいと考えています。就職してからも勉強を続けるのは大変な努力が必要だと思いますが、患者様のために働く立派な管理栄養士になりたいと思っています。

左)幼心運動会実行委員のメンバーと  
右)研究授業の授業風景

私は、幼い頃からの夢だった保育士になるため幼児教育心理学科に入学しました。4年間の様々な経験を通じ、大きく成長することことができたと思います。授業でピアノテストや模擬保育を行い、幼稚園や小学校での実習に臨みました。はじめは子どもとの関わり方に苦戦しましたが、子どもの思いを理解しようと心がけ、年齢に応じた声かけや遊び方を提案することで距離が縮まる感覚を得ることができました。大学では、幼児の図書普及活動として「よるのとしょかん」活動後、ゼミの仲間と一緒に

新規本に出会うことができ良かつたと感じています。

実習での現場経験、授業で学んだ多くの知識を生かしながら、子どもたちや保護者の心に寄り添い、それぞれの個性をしっかりと引き出せる保育士になることが私の目標です。そのためには、一人ひとりの性格や背景を心から理解しようとすると共に、その子に合った保育内容を考えていくことがより大切だと考えています。この先、自分自身も結婚や出産、子育てを経験することで、保護者の方たちと同じような気持ちを共有することができます。そのためには、一人ひとりの性格や背景を心から理解しようと協力しながら、子どもたちの個性がキラリと輝くような保育を目指していきたいと思います。

### 大学生活の思い出

### ワタシの未来



国際教養学科2年  
小松 果菜子  
(廿日市高等学校出身)

幼稚教育心理学科3年  
森内 朋美  
(如水館高等学校出身)



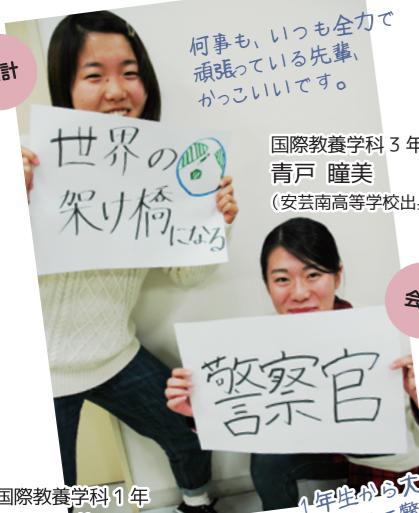
幼稚教育心理学科2年  
日野 里咲  
(安佐北高等学校出身)

#### あやめ祭実行委員会

わきあいあいとした家庭を作ってください  
素敵な家庭をつくす  
子ども達の未来を支える  
小学校教諭

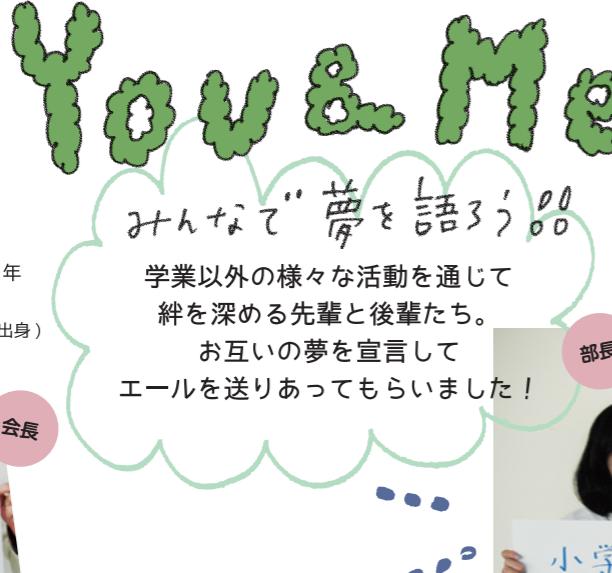
国際教養学科3年  
田中 カレン  
(五日市高等学校出身)

#### 自治会アイリス



国際教養学科1年  
橘高 未悠  
(盈進高等学校出身)

1年生から大きな夢を持つて驚きです。  
今まで様々な経験をして、今から様々な経験をして、夢を叶えてください!



みんなで夢を語ろう  
学業以外の様々な活動を通じて  
絆を深める先輩と後輩たち。

お互いの夢を宣言して  
エールを送りあってもらいました！

夢が先輩らしくて、働いているところがすごく想像できました！  
ところが、大変なところもたくさんあるとは思いますが、やりがいがあると思うので応援しています！

#### 演劇部



幼稚教育心理学科3年  
栗田 菓  
(銀河学院高等学校出身)

幼稚教育心理学科1年  
山崎 由愛  
(美鈴が丘高等学校出身)

#### 表千家茶道部



管理栄養学科1年  
本田 智実  
(賀茂北高等学校出身)

#### 留学生



国際教養学科1年  
王 一涵  
(中国 山東省出身)

大学院言語文化研究科  
英米言語文化専攻博士前期課程2年  
呂 思錦  
(中国 遼寧省出身)

#### 先輩



国際教養学科1年  
王 一涵  
(中国 山東省出身)

私たちの  
キャンパスライフ

様々な出来事を体験した  
「キャンパスピーラー」たちが、  
等身大の想いとともにレポートします。



## こどものうた研究会

幼稚教育心理学科3年 新原 桃香  
(如水館高等学校出身)

音楽好きの学生が集まり結成した「こどものうた研究会」では、子どもの歌や手遊びなどを練習し、様々なイベントで表現発表をしています。この研究会の面白さは、その時々のテーマに合わせて音楽劇やラインダンスを披露するなど、歌を取り入れた演出を考えるところにあります。

今年度は、「シャレオ大学生コンサート」や「第57回中四国保育学生研究大会」等のイベントに参加し、シナリオや配役、効果音を自分たちで考え、作品を作り上げてきました。回を重ねるたびに、さらに良いものにする

ため、意見を出し合いながら表

現を改善していくこともあります。セリフを合わせ、ダンスを踊る中で、一人ひとりの個性がわかりはじめ、個々の良さを生かした作品を作り上げることができたと感じています。

私はこの研究会で、一人では決してできない「楽しく人にメッセージを伝える」ということが、できてよかつたなと思っています。他大学の発表を見て、とても良い刺激を受けることもできました。これからも皆と一緒に、思いを込めた作品を発表したいです。

出演者も観客も思わず笑顔に

## Join Nepal Project

国際教養学科3年

Isooda Ajdari (イラン出身)

### ネパールの小学校再建のお手伝い あやめ祭でチャリティうどんを販売

On April 25th 2015 an earthquake hit Nepal. This incident brought huge amount of damage to Nepal which is categorised as a Least Developed Country. Nepal was on a rapid improvement in terms of living standards, but the earthquake has now slowed down national improvement plans of Nepal.



We as global citizens had to take an action to support Nepal earthquake victims. Since I am taking GSE classes I have learned a lot about international development and aid programs. I came up with a project plan with the help of my lecturers and I formed a group to help me with this project. It took a year to execute this plan but with help of many kind

people, and of course God's blessing, we could succeed.

We believe that education is important for development of a country; we decided to help with reconstruction of a school in rural area Nepal. Majority of rural areas of Nepal are located in mountainous regions, it's hard to transport earthquake relief there, and therefore they are often neglected.

To help Nepal, we needed guidance from experts. We partnered with 'ANT Hiroshima NGO' to help us with transferring money to Nepal from Hiroshima, and we also partnered with 'Build Up Nepal NGO' which will use our donation to build a school in one of the neglected rural area, Jyamrung village. We then looked for ways to raise fund for reconstruction of one classroom in this village. We participated in Ayame Festival at HJU to sell Nepalese taste Udon, using Gram Masala. Many people came and we sold all of our Udons. Many kind people also gave us extra money for donation. We rose 70,000 yen through sales and donations. All the money will be transferred to 'Build Up Nepal NGO' through 'ANT Hiroshima NGO' in the month of April. Next Report will be after April. We are looking forward to next phase of the project.

2015年4月25日にネパールを襲った大地震は、建物の倒壊、雪崩、土砂災害など国全体に大きな被害をもたらしました。いまだ支援の届かない農村の小学校再建プロジェクトに協力するため、イランからの留学生アイソダ・アジダリさんと学生有志があやめ祭でチャリティうどんを販売。約70,000円の売上げをプロジェクトに協力しているNPO法人ANT-Hiroshimaに託しました。

## 女学院NEWS

### 湊晶子学長「ペスタロッチー教育賞」受賞！



広島大学越智学長からペスタロッチーの胸像を授与される湊学長



東京から駆けつけた3人のお子様方とともに

2016年10月、湊晶子学長が「ペスタロッチー教育賞」を受賞されました。この賞は、極めて困難な教育状況の中で優れた教育実践をおこなっている個人あるいは団体を顕彰するため、広島大学大学院教育学研究科が「民衆教育の父」であるスイスの教育家・教育思想家ヨハン・ハインリヒ・ペスタロッチーの名を冠し1992年に設立した大変名誉ある賞です。

湊先生が、まだ女性が留学し研究者になることも稀で、働く女性を支援する制度も施設も整っていない時代に、自立した女性の先駆者となって女子教育に力を注いでこられたことと、長年途上国の教育に貢献してこられたことが評価されての受賞でした。過去の受賞者には黒柳徹子さんもいらっしゃいます。

12月22日、広島大学にて表彰式が執り行われ、続いて記念講演が開催されました。湊先生は「いまを生かす新渡戸稻造の精神～教養教育と女子教育」という演題で「男女を織物に例えれば男子は絹糸、女子は緯糸である。絹糸が弱くても緯糸が弱くても織物は完全とは言われませぬ」という新渡戸稻造の言葉を引用し、「ぶれない個を確立し、眞の国際人として、途上国の教育、特に女子教育に目を向けることが私たちの使命である」と語られました。表彰式には湊先生の3人のお子様方が、お忙しい中、仕事を調整して東京から駆けつけられました。

学びの力が見つけに  
自分たちで企画した関門海峡巡検



右)関門海峡の歴史や、貿易、交通の変遷などを学んだ鳥山民俗資料館  
左)多くの人々でぎわう唐戸市場は活気にあふれていました



右)下関と門司を結ぶ関門トンネル  
左)大正時代のレトロな雰囲気を再現した門司港の風景

## 地理学巡検 フィールドワーク

国際教養学科3年 古家 愛三  
(福岡県立光陵高等学校出身)

伊藤ゼミでは、11月5日から6日かけて、関門海峡の巡査を行いました。1日目は、下関市の鳥山民族資料館や関門海峡沿いを調査。その後、関門トンネルの中を歩いて、門司へ渡りました。2日目は、現地のボランティアガイドから説明を受け、門司港レトロの町並みを見てわりました。この巡査を行うことになったきっかけは、春学期に実施した廣島市南区の仁保巡査にあります。巡査は、事前に文献などで調べを行った後、現地に行つて調査しますが、仁保の現地調査では、事前調査の重要性を学ぶことができました。現地に行なうことが多くあり、学びの幅を広げることができます。そのようなことがあったので、今度は私たちの希望で、関門海峡の巡査を実施することになりました。

自分たちの手で企画したことと、自分たちで企画したことを見て、現地でしか感じられないことが多くあります。それがわからずないことが多かったです。これか

# 12月

## 自治会アイリス 2016 年度 第 2 回学生大会・クリスマス会

12月14日に自治会アイリスが2016年度第2回学生大会を開催しました。大会後は恒例のクリスマス会を開催、各クラブのスタンツやビンゴゲームのち、ヒノハラホールでケーキの会食を楽しみました。



### クリスマスオープンキャンパス

#### 10月～2月の出来事

- 10/22(土) 幼児教育心理学科「幼心運動会2016」
- 11/2(水)～3(木・祝) ミリアム・カレッジ来校
- 11/19(土)～20(日) あやめ祭
- 11/22(火)～26(土) 山東大学日本文化研修受入れ
- 11/28(月) クリスマス・ツリー点火音楽礼拝
- 12/5(月)～9(金) 大学人権週間
- 12/14(水) 自治会アイリス2016年度 第2回学生大会・クリスマス会
- 12/17(土) クリスマスオープンキャンパス
- 12/23(金・祝) 第32回広島女学院「The Messiah」
- 12/25(日) クリスマス
- 1/30(月)～31(火) 広島女学院大学入学試験(一般前期日程)
- 2/2(木) 広島女学院大学入学試験(一般前期日程)
- 2/9(木) 秋学期授業終了



### 第32回広島女学院「The Messiah」

学院主催のクリスマスコンサート「The Messiah」が、今年も広島女学院ゲーンスホールにて開催されました。ヘンデルの「メサイア」はオーケストラの演奏のもと、合唱と独唱によりキリストの生涯を歌い上げます。本学からは聖歌隊、アンサンブル・エスポワール、放送部も参加・協力しています。



### 女学院 NEWS

#### 牛田商店街の街路灯 「ひろしま街づくりデザイン賞 街並み部門」受賞

牛田商店街振興組合と生活デザイン・建築学科のコラボで2015年11月に完成した牛田商店街のLED街路灯が「第15回 ひろしま街づくりデザイン賞 街並み部門」を受賞しました。「魅力ある街づくりをつくりだしている作品」として、地元商店街と大学との地域連携活動、温もりのある街並みが商店街活性化に役立った点、プロセスやコンセプトの一貫性が高く評価されを受賞しています。

ての受賞です。関係者の皆様ありがとうございました。今後も地域貢献となる美しいデザインを目指して、切磋琢磨していきます。この賞は、広島市主催で良好な景観形成に貢献すると認められるもの・活動を対象に表彰されます。2010年には、大学のゲーンスチャペルが「第12回 ひろしま街づくりデザイン賞 大賞」を受賞しています。

# 11月

## 第67回あやめ祭

今年のあやめ祭のテーマは「歩～Brand New Stage～」。「歩一步進みつつ、新たなステージへと踏み出したい」というあやめ祭実行委員の気持ちを表しています。毎年大人気のトークショーやフリーライブには列ができる、各大学のスタンツやバンド演奏がステージを賑やかしました。生活デザイン・建築学科の学生がデザインした衣装でのファッションショーも華やかに行われ、大変盛況に終わりました。



### 第16回広島女学院 クリスマスツリー点火音楽礼拝

待降節（アドヴェント）が始まった週の夕べに開催され、学生、園児、教職員、保護者など約150名の参加者を迎えるました。湊晶子院長・学長によるクリスマスマッセージに続き、アンサンブル・エスポワール、聖歌隊、ゲーンス幼稚園の子どもたちの演奏や合唱が響き渡りました。クリスマスツリーの前でカウントダウンした後、湊院長・学長、学生代表、園児代表がクリスマスツリー点火スイッチを押し、夕空にツリーの電飾が煌きました。



# キャンパス アリババ

秋から冬にかけて開催したたくさんのイベントを紹介します。

### フィリピン ミリアム・カレッジ来校

神戸で日本文化研修中のフィリピンのミリアム・カレッジの学生11名が、11月2日に広島を訪問しました。初日に平和公園と平和記念資料館を、次の日は宮島をボランティア学生6人で案内しました。毎年、本学訪問を楽しみにしてくださっているようです。



### 日本語教員養成課程 中国 山東大学日本文化研修受入れ

9月21日から7日間で教育実習を行った中国の提携校「山東大学」から、今年も同大外語学院日語科の学生6名が11月に来日し、本学で日本語文化研修を行いました。5日間の滞在中、本学の先生や日本語教育実習生による授業を受け、平和記念公園や宮島、マツダミュージアムを訪問、鍋パーティやショッピングなど盛りだくさんのスケジュールでしたが、お互いに親睦を深めていました。今後も交流が続けられます。



【開室時間】

月～金/8:30～17:00  
土/8:30～12:30



## 「最後まで諦めない気持ちを大切に」

内定先／広機工株式会社  
国際教養学科 4年  
平田 悠(賀茂高等学校出身)



いつでも相談に乗ってくれるキャリアセンターの方は、心強い存在です

大学3年の秋頃から学内の就職活動に関するガイダンスやセミナーに参加し、「準備万端!」と思っていましたが、なかなかうまくいきませんでした。そして夏休みを目指して、選考が進んでいた最後の会社からも、ついに不採用の通知が届きました。周りの友達が内定を頂いている中、またゼロからのスタート。不安と焦りしかありませんでした。キャリアセンターの方には

「早く内定を貰って就職活動を終わらせるのがいいとは限らない」と何度も言わされました。ゼロから就職活動を再開して10月に内定しました。私はこの言葉が響きました。たくさんの不安と焦りがありました。諦めず、就職活動を続けたことで、納得のいく就職先に出会えました。これから就職活動が始まる3年生の皆さんには、「妥協しないこと」「諦めないこと」大切にしてもらいたいです。

そして、キャリアセンターの方にぜひたくさん相談してください！

## 就職先企業／第一生命保険株式会社 広島総合支社

### 「見学で感じた会社の魅力」

幼稚教育心理学科 2015年度卒  
間藤 優紀子(賀茂高等学校出身)



私が3年生の3月に就活を始めました。今

の会社に魅力を感じたのは職場見学の時で、とても温かな雰囲気の職場だと思ったのを覚えています。入社後もギャップはなく、先輩社員と一緒に楽しく仕事に励んでいます。

4月からは後輩が入社してきますので、共に成長していくならと思っています。



左から亀田さん、間藤さん、松田さん

### 「向き不向きより前向きに」

管理栄養学科 2012年度卒  
亀田 真麻(愛媛県立今治北高等学校出身)



私は3年生の3月に就活を始めました。とても温かな雰囲気の職場だと思ったのを覚えてます。入社後もギャップはなく、先輩社員と一緒に楽しく仕事に励んでいます。4月からは後輩が入社してきますので、共に成長していくならと思っています。

### 「仕事を通じて自身も成長」

幼稚教育心理学科 2014年度卒  
松田 歩美(広陵高等学校出身)

私の仕事は担当企業を訪問し、個人のお客様に生命保険のご提案をすることです。毎日訪問し元気に挨拶することで、多くの方に覚えてもらえるよう工夫しています。一緒にプランを考え、信頼を築き、決めてもらった時はやりがいを感じます。仕事をすることで、自分自身も成長しているのだと思います。

# なるほど就活

キャリアセンターに聞く

目標が定まっている人もそうでない人も、自らが動くことで見えてくるビジョンがきっとあるはず。さあ、新しい世界へ向かって一步踏み出してみましょう！

就活アドバイス



### 就活対策のプログラムが充実 積極的な参加で自己実現を叶えよう

キャリアセンターでは、年間を通して「自己分析」、「業界・職種研究」、「マナー講座」など、就活に役立つガイダンスやセミナーを開催しています。今回の中から、いくつかを紹介します。就活は「まず行動すること」が大事です。積極的に参加して、自分に合った進路選択を実現しましょう。



本学卒業生で、現在パーソナルスタイリストとして活躍されている田村絵里子さんを講師にお招きました。第一印象の大切さや装いの考え方を通して、「相手の立場に立つ視点」が大事であることを教えていただきました。後半はカラーディagnosticを受け、就活マイク用の自分に似合うチークと口紅の色を診断してもらいました。同じピングでも人によって似合う方が違うとわかり、装い方の大切さを知ることができました。

「納得のいく就職先から内定をもらうには?」:就職活動に漠然と不安を抱える3年生にとって、就活を終えたばかりの先輩から『生の声』を聞けるチャンスです。実際に作成した就活ノートを見せながら、自己分析の大切さや、自分の就活の進め方、その会社を選んだ理由などのお話がありました。

試験内容や、面接対策、スケジュールの組み方など、熱心に質問しメモを取る学生の姿も見受けられましたよ!

取り入れられる  
就活で好印象に見える装い方  
レッスン

内定者報告会

就活マラソン

今日からすぐ  
取り入れられる

わからないことが  
どんどん聞ける!

人と差がつく  
スタートを



## ON THE COVER 今月の表紙

### カンボジアこども支援プロジェクトチーム



私たちちはスタディツアーをきっかけにカンボジアに興味を持つようになりました。個人でカンボジアを訪れた際、貧困地域で生活している子どもたちのために日本で成長とともに着られなくなった子ども服を集め、寄付を行いました。最初は身近な友人に協力してもらっていましたが、今回はゲーンス幼稚園と早稲田公民館の方に協力していただき、より多くの衣服をカンボジアに届けることができました。

国際教養学科3年 小倉 葵(海田高等学校出身)  
幼稚教育心理学科3年 横原由華(安芸府中高等学校出身)  
国際教養学科4年 山崎桃(広島女学院高等学校出身)  
国際教養学科3年 久留米美緒(福山華陽高等学校出身)  
国際教養学科3年 上瀬梨里子(呉宮原高等学校出身)

### 編集 後記

#### お知らせ

学生課のTwitterができました。学内向け、学生向けの内容でつぶやきますので、ぜひご覧ください！  
アカウントはこちら  
@HJU\_gakusei

キャンパスニュース188号は、卒業特集号でしたが、いかがでしたか。ご協力くださいました。みなさまに感謝いたします。Y.O.U & M.Eのコーナーでは133年生の先輩・後輩にお互いの夢を語っていました。いきなり呼び出して「この紙に夢書きなさい」と無茶ぶりして申し訳ございませんでした。これに懲りなければ幸いです（オーランキンカンパススタッフ、来年度も募集するよ。それでは、次号までさきげんよう）。

### キャンパスリポーター募集

## 私たちと一緒に 『Campus News』を作りませんか？



管理栄養学科2年 船木 奈々果  
(広島女学院高等学校出身)

『Campus News』の制作のお手伝いをしてくださるキャンバスリポーターを募集しています！広島女学院大学はどんな大学なのか、どんな人がいるのか一緒に探ってみませんか？

活動内容は、教職員や学生への取材、写真撮影など。見たことや聞いたこと、体験したことなどを記事にして記者気分も味わえますよ。学生時代の貴重な体験、思い出になること間違いなし！学部や学科は問いません。少しでも興味があれば下記問い合わせ先までご連絡ください。また、「紙面に登場したい！私を取材して欲しい！」なんて方も同時に募集中です。

問い合わせ先 / 総合学生支援センター学生課  
TEL : 082-228-0407

学生課アドレス : gakusei@gaines.hju.ac.jp

## キャンパスカレンダー Campus Calendar

<b>4月</b>	4(火) 入学式(13時30分)・新入生オリエンテーション
	5(水)～7(金) 春学期オリエンテーション
	5(水)～14(金) 履修登録(4/14 22時締切)
	8(土) 春学期授業開始
	11(火) 「キリスト教の時間」開始
	18(火) ゲーンス記念礼拝・ゲーンス墓前礼拝
	20(木)～21(金) オリエンテーションキャンプ(生活デザイン・建築学科／幼稚教育心理学科)
	21(金)～22(土) オリエンテーションキャンプ(国際教養学科／管理栄養学科)
	21(金)～27(木) 履修登録確認表交付・履修修正申告期間(4/27 12時締切)
	23(日) ゲーンスデー

<b>5月</b>	3(水)～5(金) ひろしまフラワーフェスティバル参加(おりづる広場)
	22(月)～26(金) 参加春季宗教強調週間
	24(水) 宗教特別講演会(5・6限)
	24(水)～31(水) 履修登録科目取消期間(5/31 12時締切)

<b>6月</b>	1(木)～21(水) 6月期教育実習
	18(日) 第1回オープンキャンパス
6月中に自治会アイリス主催 学生大会・スポーツ大会も予定しています。	

過ごし方はあなた次第。  
思いっきりキャンパスライフを楽しもう！

2017年度オープンキャンパス  
スタッフ募集していまーす♪



広島女学院大学 オリジナルキャラクター  
ジョガクインコちゃん